

<事業主向け雇用拡大支援メニュー>

観光分野における

Information and Communication Technology

ICT

導入および活用

に向けたアウトプット型育成プログラム

研修のねらい

「人手不足で困っている」「全く人を採用できない」「社員の離職を抑えたい」といった経営者の声。

これからの経営環境を考えると、このような人事課題はそれだけに取組むのでは、持続的な経営は実現しません。

人事改革と業務改革を一体として進める働き方改革の実現が必須であり、会社ごとにその解決方法は異なります。「自社にとって

最適なストーリーは何か」を考え、解決策の糸口を見つけていただきます。それには「とにかく行動を起こすこと」。計画作りをして実行の伴わない

セミナーが世の中に溢れています。本セミナーでは、アクションプランを作り、期間中に行動することで、走りながら戦略を構築していくことを目的としています。

9/12 [Tue] **START** [受講料無料] 10:00 - 16:00

セミナー： 1st 9/12 , 2nd 3/6

講座： 1st 10/24 , 2nd 12/12 , 3rd 1/16 , 4th 2/20

倉吉交流プラザ (倉吉市駄経寺町 187)

講師 **城倉 亮** 氏 (リクルートワークス研究所)

東京大学文学部思想文化学科卒業。大手航空会社等を経て、2012年 株式会社リクルートホールディングス入社。
マネジャーとしてグループ各社の人事業務を支援。その後 ITベンチャー企業を経て、2015年リクルートへ復帰し現職。

重松 正弥 氏 (旅行総合研究所 所長)

早稲田大学理工学部卒業。小売業を経て、人材派遣のパソナに転職。予算管理部長として東証一部上場を達成。その後、
子会社常務取締役を歴任。商業施設開発や星野リゾートにて温泉旅館再生事業を担い、2008年、旅館総合研究所設立。

宮崎 智子 氏 (陣屋旅館 女将)

昭和女子大学卒業。神奈川県の大磯温泉にて100年近く続く老舗旅館「元湯陣屋」の4代目女将。10億円の負債状況
から、ITの導入や高級志向、プライダルの進出など常識破りの試みを次々と行い、旅館経営のV字回復を成し遂げる。



城倉 亮 氏



重松 正弥 氏



宮崎 智子 氏

鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地

鳥取県商工労働部雇用人材局就業支援課内

TEL.0857-26-8477 FAX.0857-26-8336

メール tottorichipro@pref.tottori.lg.jp

ホームページ http://rajc.jp

◎ 研修の特徴

1. 先進的な取り組みを行っている旅館へのインタビュー調査、全国およそ5万人を対象としたアンケート調査からまとめたサービス業の「働き方改革」10のキーワードを説明します。10のキーワードのフレームに基づき、働き方改革を実現している先進事例についても紹介し、自社がどのように取り組むべきかを具体的に検討していきます。
2. 受講生の発表重視：一方的に聞くだけのインプット型研修ではなく、積極的に発言できるアウトプット型セミナーを行います。
3. アクションプラン重視：受講生の行動を促すことにより、アクションプランの構築に繋がります。
4. フォローアップ体制：現場経験者、専門家と協力しながら、アクションプランの実現をサポートします。
5. 課題別グループ：雇用管理、業務改善、情報インフラなどの受講生の課題に沿ったグループ分けを行い、ゼミ形式で、受講生の課題解決にあたります。
6. 社員のモチベーションへの配慮：フレームワークや仕組み以上に大事なのは、社員のモチベーションマネジメントです。セミナー内では、常にESを重視した戦略構築を目指します。
7. 専門家の派遣：専門家によるハンズオン支援を行います。

◎ カリキュラム セミナー：9/12, 3/6【定員 50名】 講座：10/24, 12/12, 1/16, 2/20【定員 30名】

日程	【第1回セミナー】 9/12 (火)	【第1回講座】 10/24 (火)	【第2回講座】 12/12 (火)	【第3回講座】 1/16 (火)	【第4回講座】 2/20 (火)	【第2回セミナー】 3/6 (火)
目的	啓発・ネットワーク形成	成功企業の実例研究	課題抽出及び把握 目標設定	目標プランの設定	改善計画の経過報告	成果発表及び結果の共有化 及びネットワーク形成
講師	午前：城倉 亮 氏 午後：重松 正弥 氏	午前：宮崎 智子 氏 終日：重松 正弥 氏	重松 正弥 氏	午前：城倉 亮 氏 午後：重松 正弥 氏	重松 正弥 氏	重松 正弥 氏
テーマ	働き方改革の必要性 自社の労働環境の再認識	事例研究 ----- 中核人材の重要性	ICT導入により企業が 目指すもの	タスクの再構築 ----- 具体的な改善計画の決定	改善計画の経過報告と 軌道修正	自社が取り組むアクションプラン の発表準備 ----- 成果発表
内容	1. 働き方改革が必要な背景 2. 業務改革と人事改革を 一体で行うサービス産業の 働き方改革の10のキーワード ----- 1. 自社の労働環境の再認識 2. ICTとは何か→あくまで 人がつかうもの 3. 成功例、失敗例を交えた事例	1. 経営者又は支配人とのセッ ション方式による討議 ----- 1. 中核人材の重要性 2. 人材育成 3. 成功企業の実例	1. 自社の現状の発表 2. 上記の課題に基づき、課 題別にワーキンググループ 分け 3. ICT導入に伴う具体的なソ フトの紹介 4. グループ毎の改善計画の 目標設定	1. 個人の業務を細かく分解し、 役割の見直し等でタスクを 再構築する ----- 1. 企業が目指すものを明快に して、具体的な改善計画を 決定し、発表する	改善計画の経過報告と 軌道修正	1. 受講者が参加事業所の経営者、 金融機関、行政機関に対して 講座内容の説明、発表準備 ----- 1. 受講者が参加事業所の経営者、 金融機関、行政機関に対して 成果発表

◎ お申込み・お問合せ

下記の参加申込書にご記入のうえ FAX で当協議会までお送りいただくか、表面に記載の窓口に Eメールでご連絡いただき、お申し込みください。

参加申込書【申込締切：9/4】

観光分野における ICT 導入および活用に向けた深化型育成プログラム

貴社名	
ご住所	〒
参加者	(ふりがな) ----- (役職名) (お名前)
	(ふりがな) ----- (役職名) (お名前)
連絡先	(会社・携帯電話・自宅)
FAX	

FAX 送信先：0857-26-8336